

百一首六廿 大蛇云纏像

文のまはり... あれすぬわ... 余集抄の終... 松津の山... 大蛇云纏像

六條に住た... 九月の月の夜... 大蛇云纏像

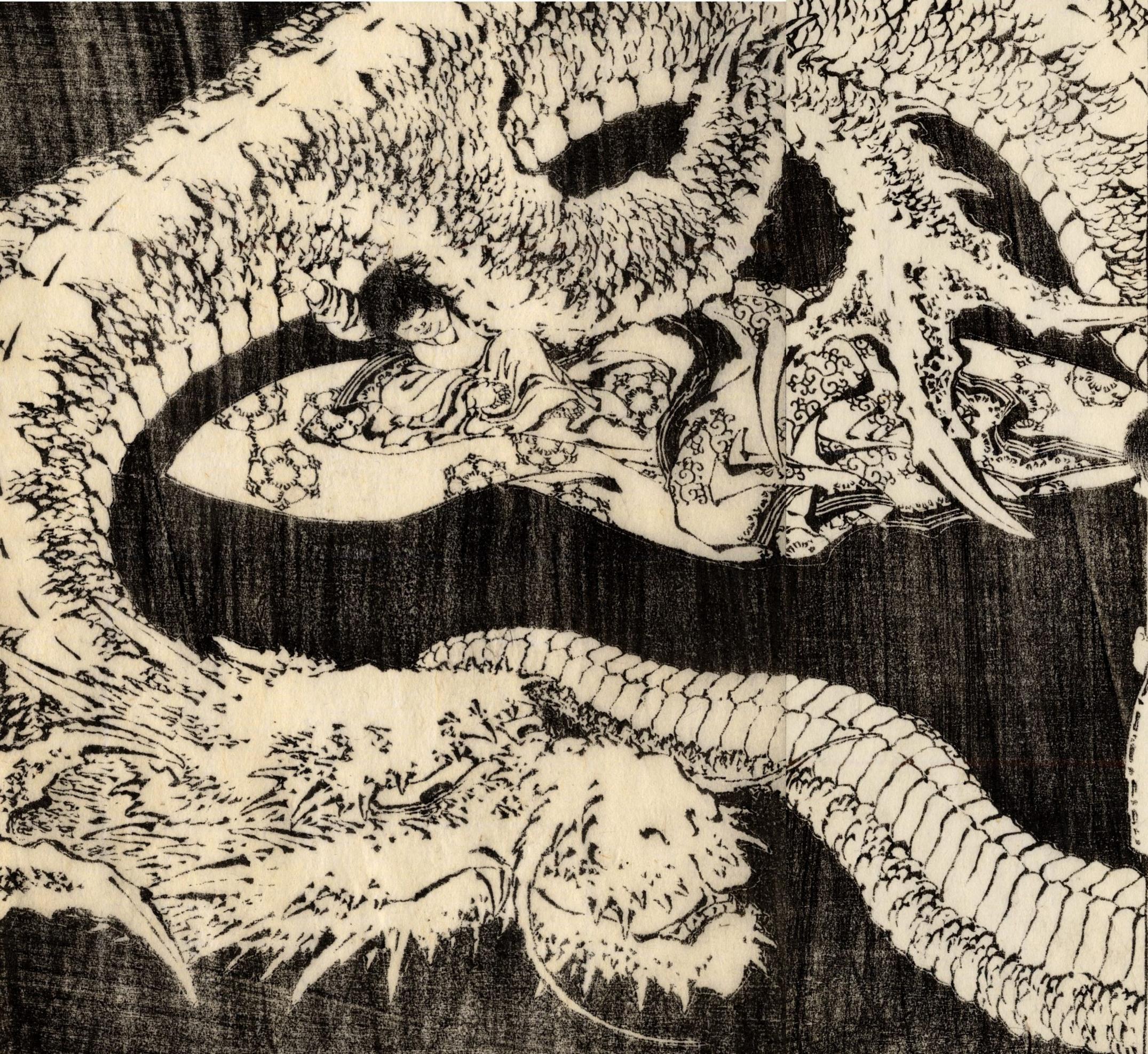


銅櫻梅園の女色





Figure 10. A detail from a scroll painting, showing a seated figure in a dark blue robe and black hat, holding a ring, set against a light background with sparse grasses.

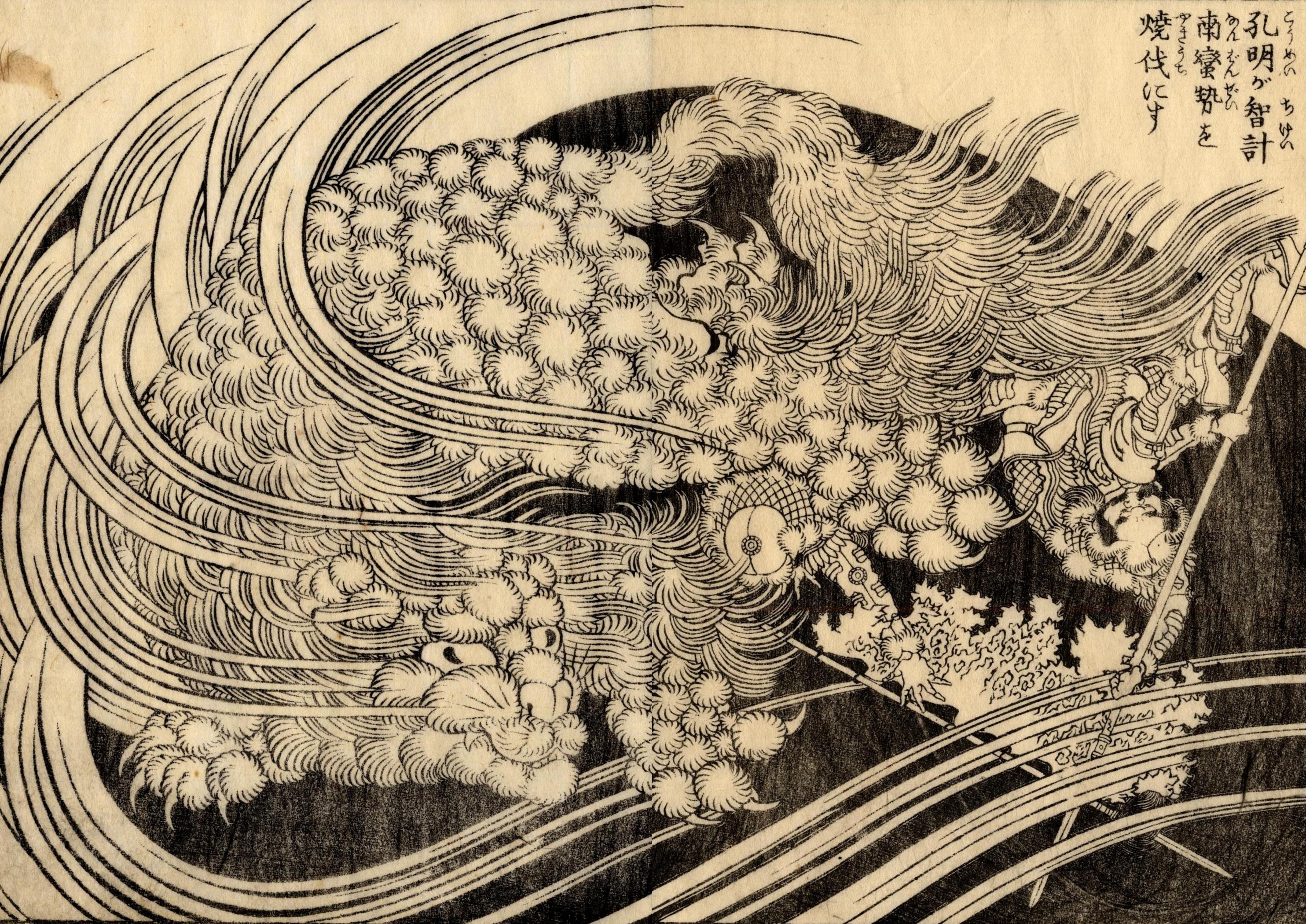


とよたまひめ  
豊玉姫の本歌  
ちんたい



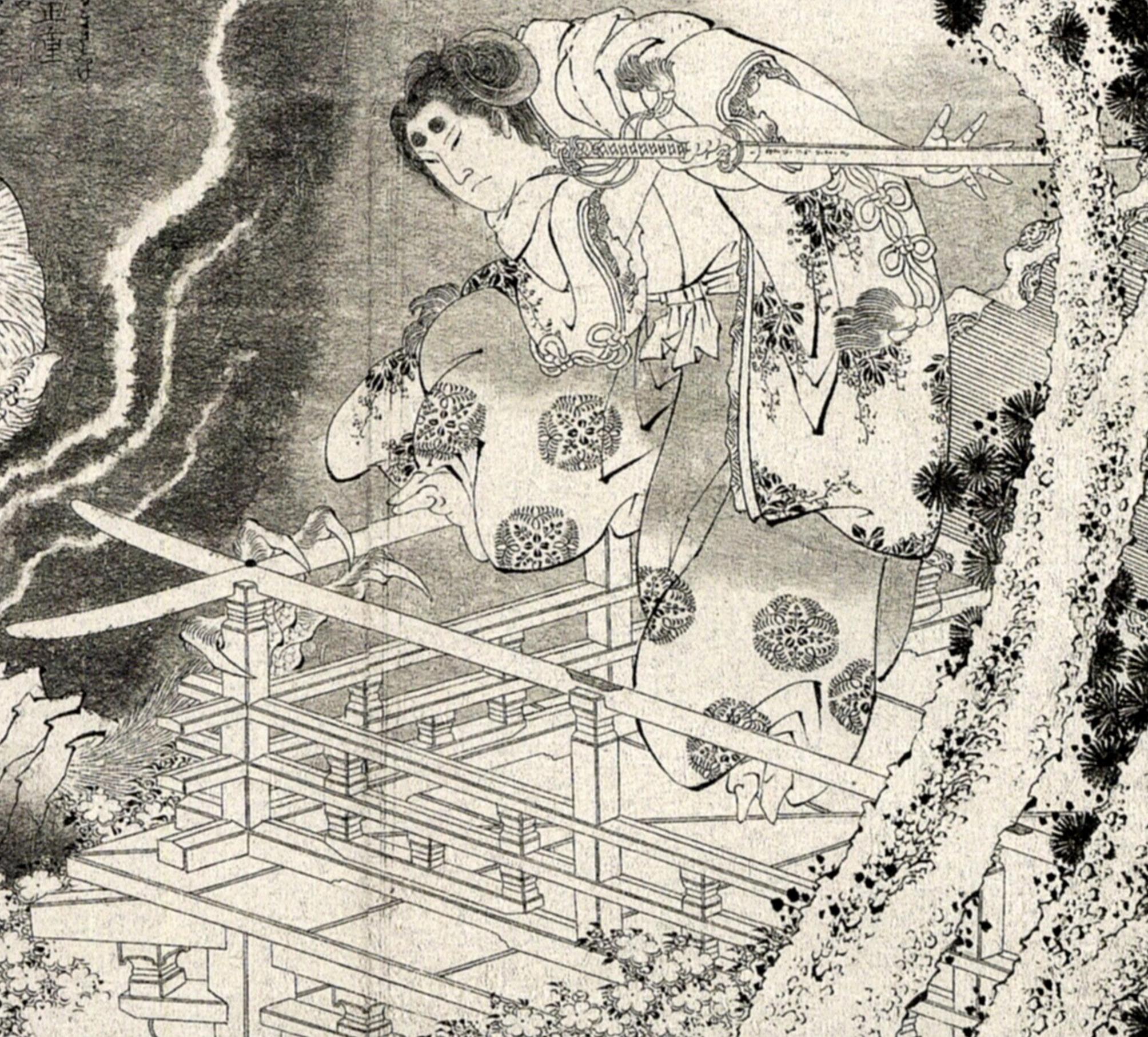
いとやてみのみと  
彦炎出見尊

孔明が智計  
南蠻勢を  
焼伐にす





楠多門九正産  
真夜に  
怪獣を斬



新繪繪戰



# 忠孝名譽奇人傳

此本 齋助  
大塚の軍道の功者天  
地理を以て龍男の信託  
耐太の至る所を以て  
勢力を以てして信託  
大塚の軍道の功者天  
地理を以て龍男の信託  
耐太の至る所を以て  
勢力を以てして信託



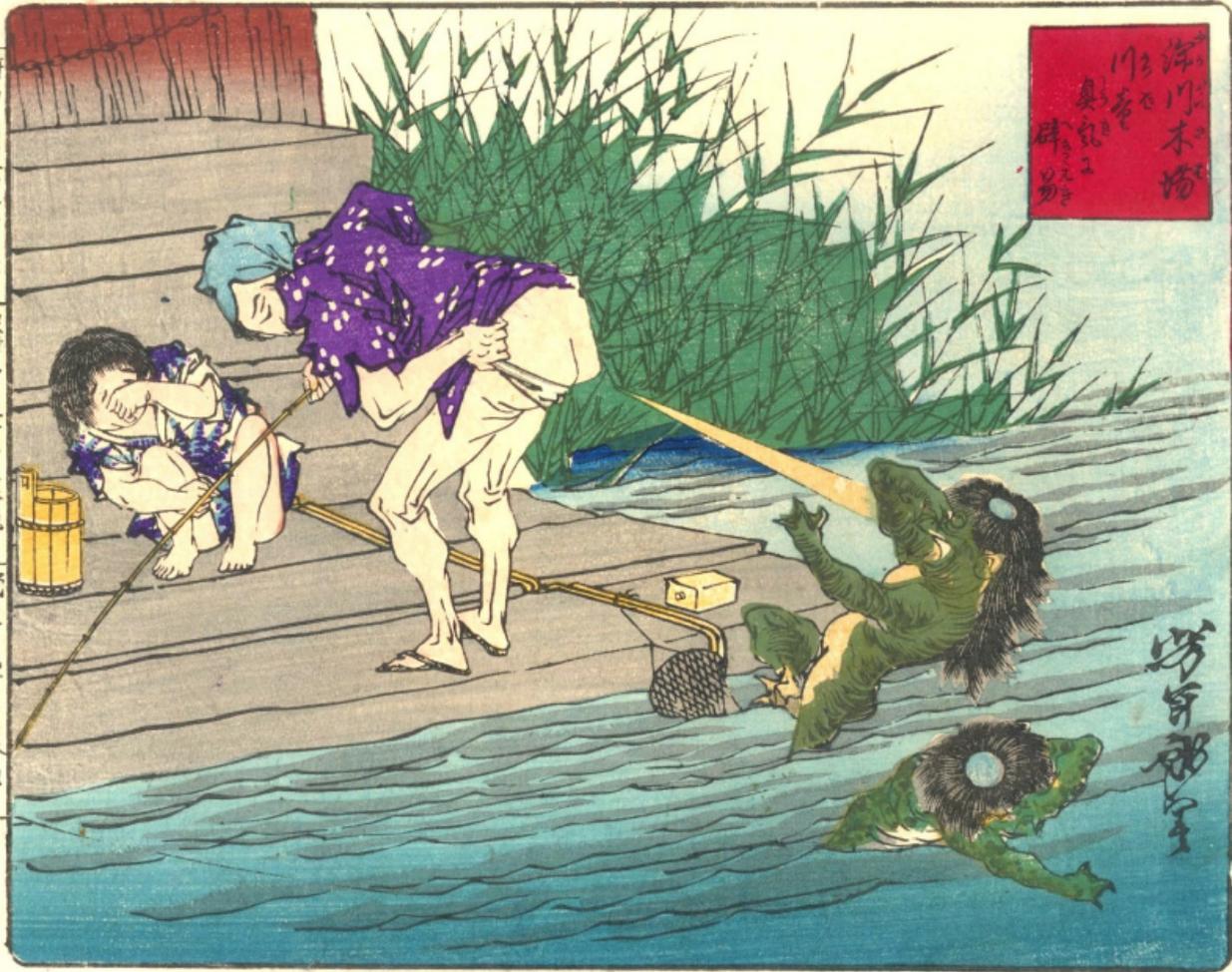
一三勇齋  
國之廿方  
印

版  
伊勢市



東京開化狂画名所

海門木場  
173  
具記  
研易



柳届明治四年四月六日

根津官永丁卅五番地  
重工 月岡米次郎

浅草瓦丁十二番地  
出版人 綱島龜吉

芳村



天清宮院

天清宮院

天清宮院

天清宮院

天清宮院

天清宮院

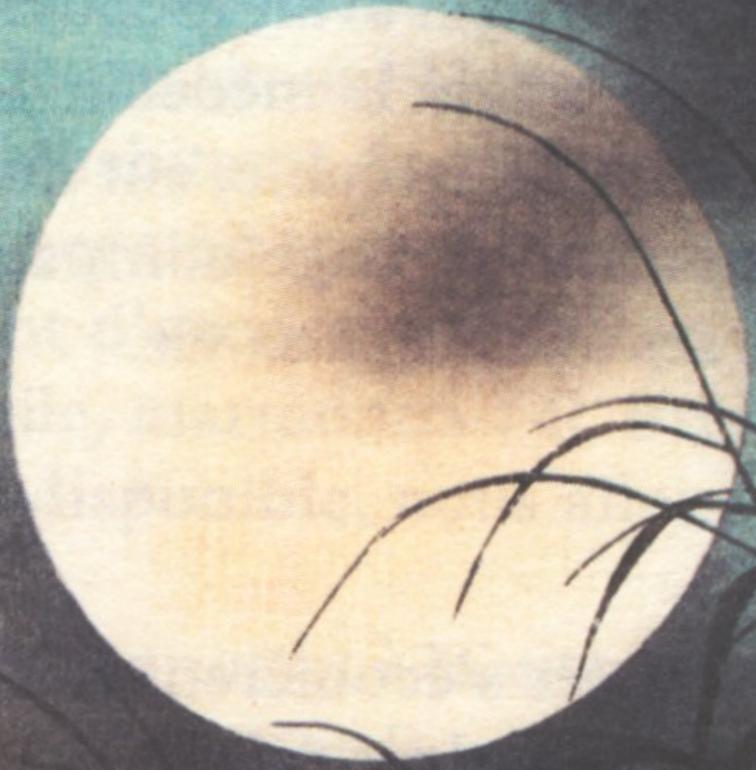
惟此  
公  
氏





夜宿池

夜宿池





惟此





古今未曾有  
工夫の幽霊  
尾上梅亭



尾上梅亭  
團扇画





一勇齋國芳



世取極羅會





清  
世  
宗  
朝  
畫  
卷  
第  
一  
冊  
第  
一  
頁



尾形周馬寛行

三好公使へ之浪人

自來也之言行

後國領城郡

向田後劍

山江信

旅形岩

住地固

に未注之

茶坊の味

のほげの

ちて大砲

打かけく

舞地と

たゆ一乃家



一画  
國芳画

樋口治郎



一徳和  
画





名可いはるる系

王子装束  
急の木  
大海の  
狐大の



借手画

魯智深爛醉  
打壞五臺山  
金剛神之圖



芳年  
存画

新撰の物語  
西遊小町

新撰の物語

西遊小町

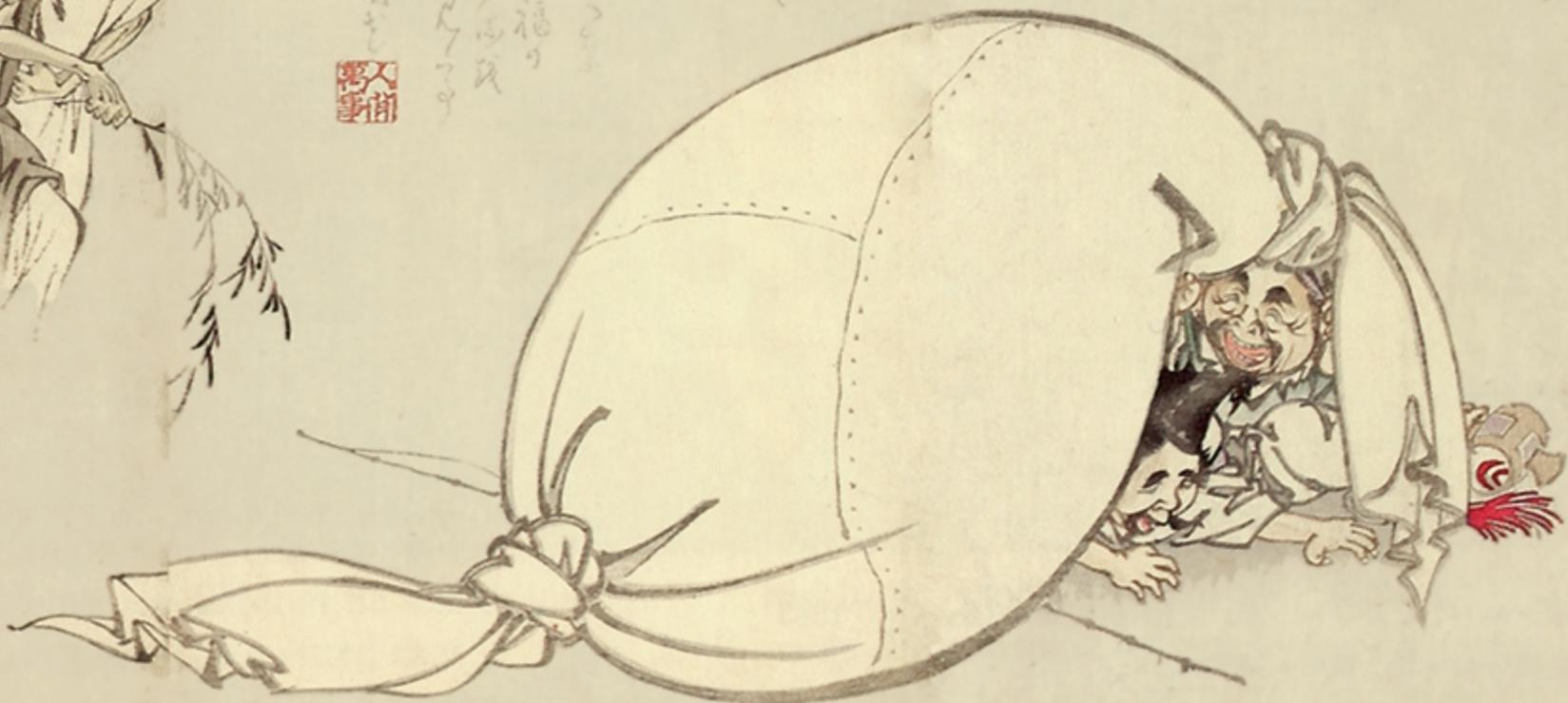
つらまじい

つらまじい

あまのこ

つらまじい

阿部  
大前



芳年  
存画





舍那王於鞍馬  
山學武術之圖

畫  
石  
印



小童常任方切雀  
為娘且重氣味志不  
觀初醒貧欲醉大  
狀無欲謂去哉



初行河  
捕魚

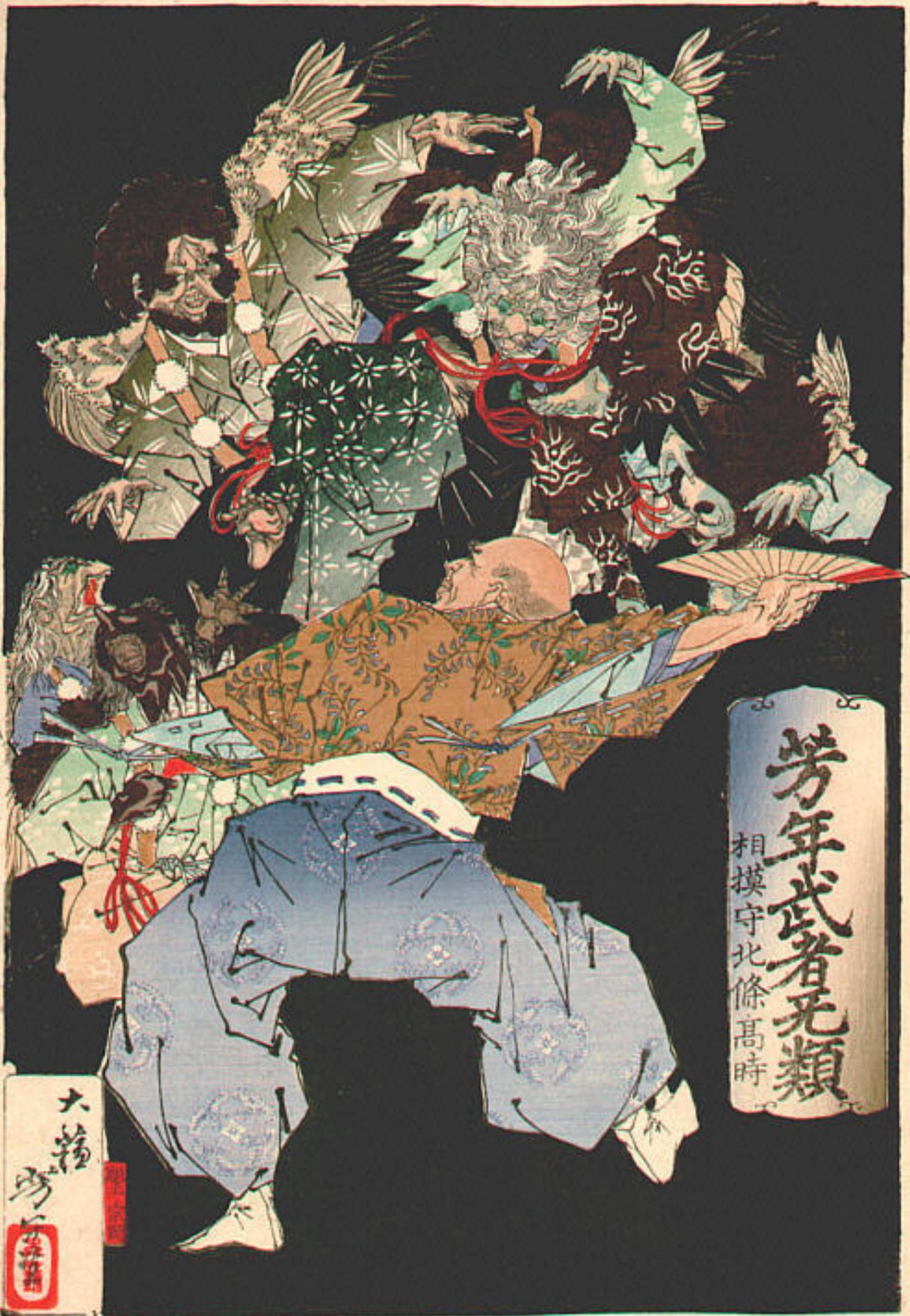


江戸  
錦  
三  
美









芳年武者无類  
相摸守北條高時

大箱  
芳年  
[Red Seal]

物居明治 年 同七日 提督官本家書局 皇正 月國津大郎 日本橋区區町四丁目五番地 出版人 綱島 芳年





# 東海道 五十三對

## 岡部

尊の佃屋神社平の上のふ  
 猫石とのあり 吉松六七郎の際  
 痛の付さる形かぬる巨童あり  
 其首此形も一室ありて年々  
 山猫老か化し年々の人小童を  
 向人民を悩む 小天命遊を  
 後不死に其是石と化すと  
 世俗小あを言はく  
 けいとも其他  
 謂らるべ



岡部

吉松

一更齋  
 國安

新形三十六怪撰

加毛の怪



新三十三卷六怪撰

法玄の霊  
櫻娘の墓の園



田代

新三十三卷六怪撰 櫻娘の墓の園 田代

新形三十六怪撰

三井寺頼豪阿蘭梨  
悪念鼠と寝を不盡



三井寺頼豪阿蘭梨  
悪念鼠と寝を不盡  
作 水野六  
画 庚山四

新三十三怪撰

源頼光土蜘蛛ヲ切ル圖





國其畫



新形三十六怪撰

貞信公衆言中  
怪撰一巻の圖



貞  
信  
公  
衆  
言  
中  
怪  
撰  
一  
巻  
の  
圖

貞  
信  
公  
衆  
言  
中  
怪  
撰  
一  
巻  
の  
圖

貞信公衆言中怪撰一巻の圖



夕照の影に  
源氏物語の  
世に傳へし  
世に傳へし

芳村  
印



无狗之  
世界



芳年画  
名





新三十四卷怪撰

地獄方丈  
怪道三圖

清  
光緒





新三十三鬼標

老婆鬼鏡七  
持去不國



新形三十六怪摺

清盛福原  
數百の頭以見玉圖



清盛  
芳







古法眼



一筆  
墨

今



彩西三十四怪撰

小何櫻此情



太平記英勇傳

織尾茂助

安春



一丁中 織尾茂助  
安春 画

新下草履員記



奴光平  
以猫間新太郎



彫竹

曾五因多

白鳥

古神の  
おまじ  
紅雲



新形三十六怪撰

三井寺頼豪阿闍梨  
悪念鼠と愛虫不直



新形三十六怪撰 三井寺頼豪阿闍梨 悪念鼠と愛虫不直 松本平吉 繪

和装  
百物語  
前記  
豊海



和装  
百物語  
前記  
豊海

月百姿

源氏  
夕顔卷

善美



山  
わ  
ら  
う





い  
鬼



東海道名所

紅葉山



宮内三郎

郵便  
報知新聞

第百六十二号

この本は、  
神田橋田町の大工棟梁佐藤一家  
に先づの頃、  
十二時、  
女房に宛て居る側、  
口をきと、  
夜、  
出た代、  
と其後、  
妖狐消滅せしむらん

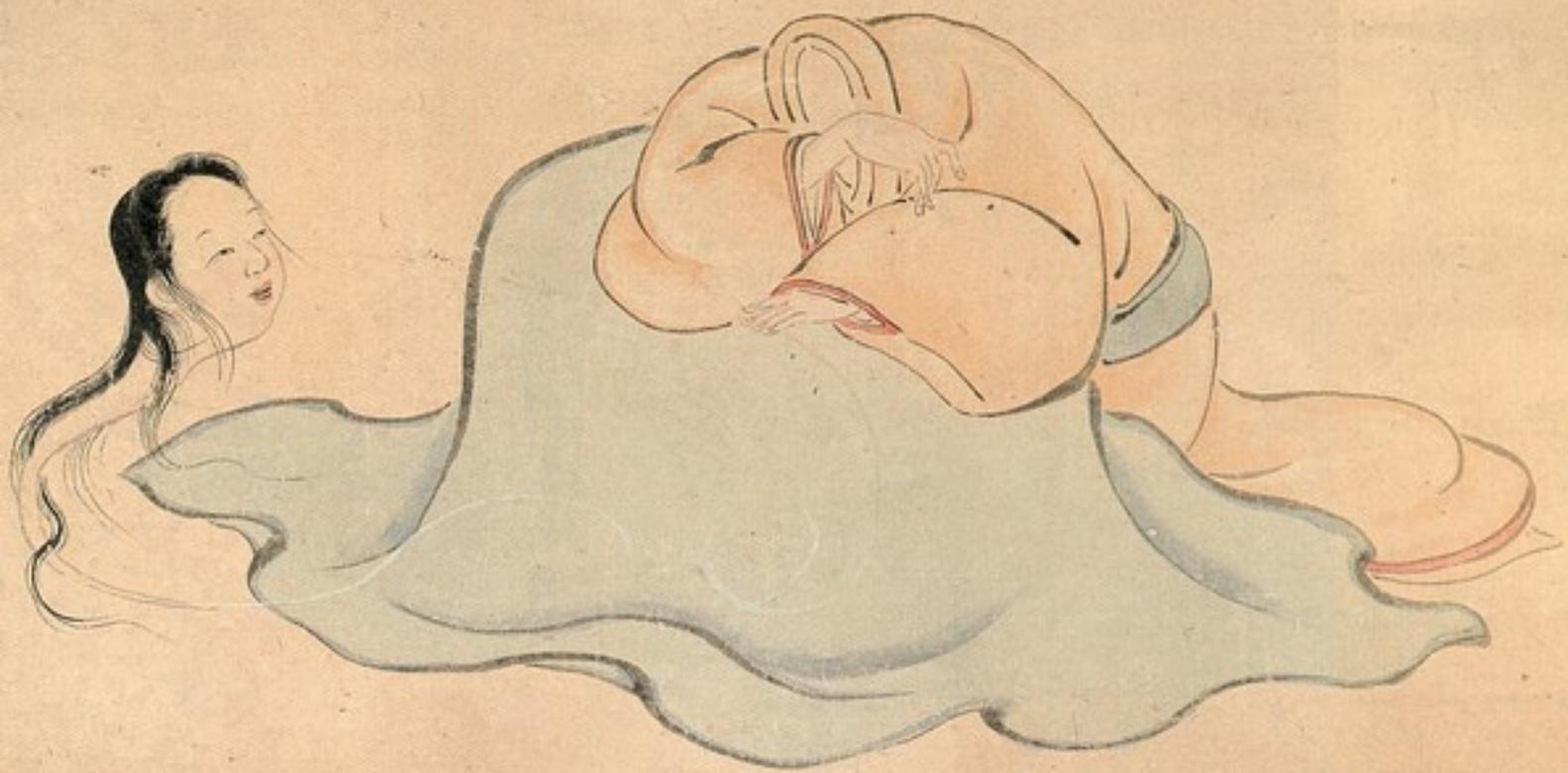
松林伯龍記



大後  
安玉

摩三郎

好むるに







いん

ぬ  
し  
女



月  
心  
婆

孔  
藏



月心婆  
孔藏

犬  
神





古邨  
印



2005.5.5



同日







意  
常  
性  
之  
殊  
亦  
碎  
備









龍宮内卷人渡邊

龍宮内卷人渡邊  
龍宮内卷人渡邊  
龍宮内卷人渡邊

國芳  
印







見越八石















